

RYOBI[®]

エンジン刈払機

取扱説明書 EK-336SW



ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用下さるようお願いいたします。

安全に注意して，正しくこ

○ご使用前は

- 服装はすそじまりをよくし，目，足の防護具を使用して，防振性のある手袋をはめましょう。
- 一日の操作時間を5時間以内になるよう作業時間の組合わせを上手にして，連続運転は30分以内になるように計画します。
- 説明書をよくお読み下さい。子供や説明をうけていない人には運転させないようにします。
- 機械はいつもきれいにしておきましょう。特に燃料タンクのまわりはよく拭いておきます。

○ご使用中は

- 刈払機を始動したり，運転したりする時は周囲に充分注意して必ず一人で(補助者なしで)操作して下さい。
- 回っている刈刃に不用意に手はもちろんのこと，身体や衣服を近づけることは大へん危険です。
- 刈払機は両手でしっかりとハンドルをにぎり，両足を開いて安定した体勢で使用します。
- 作業を中断したり，移動するときは，必ずエンジンは停止しておきます。
- 刈刃を障害物にぶつけたときは，すぐ止めて異常の有無を調べ，状況によっては整備した後に使用するようになります。2台以上で作業するときには充分に間隔をとって作業して下さい。
- 取扱いは刈払の基本をよく理解して安全作業を心がけましょう。

仕 様

形 式			EK-336SW
寸 法	長さ×幅×高さ	cm	179×61×45
重 さ		kg	7.2
エンジン	形 式		空冷2サイクル単シリンダ
	排 気 量	cc.	33.6
	最 高 回 転 数	r. p. m.	10,000
	キ ャ プ レ タ		フロート式
	マ グ ネ ト		電子点火方式，フライホイールマグネット
	ス パ ーク プ ラ グ		NGK BPM-6A
	始 動 ・ 動 力 伝 達		リコイルスタータ，自動遠心クラッチ
燃 料	混 合 比		無鉛ガソリン 20~25 : 1 2サイクル専用オイル
	タ ン ク 容 量	ℓ	0.8 (連続約60分)
刈 払 装 置	操 作		両手ハンドル
	歯 車 減 速 比		1.235
	刈 刃		8枚刃(255mm)
●特別附属品(別販売)			丸鋸刃(255×25.4×1.25mm80P) ナイロンカッターオート(6m巻)

ご使用いただくために……

- 正しく研いたバランスのよい刈刃で、切れ味よく無理をしないで作業をして下さい。（バランスの悪い刈刃は振動の原因となりますので使用してはいけません。）

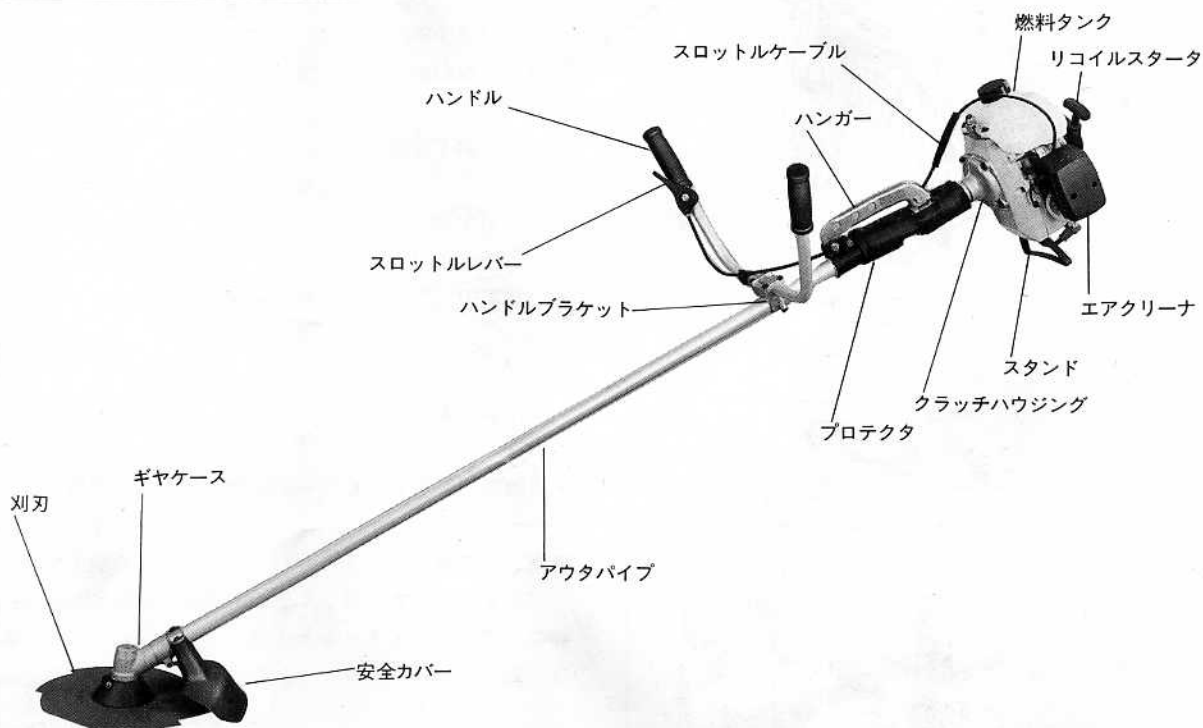
○燃料について

- 燃料は引火しやすいので注意して取扱いましょう。
- 燃料補給や手入れをしているときには、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないで下さい。
- 燃料補給は必ずエンジンを停止し、冷えてから実施します。

○ご使用後は

- 機械全体を清掃します。刈刃や歯車室周辺の切りくずもていねいに取り除きます。
- ネジ類のゆるみ、部品の破損、摩耗、キャブレタのまちがった調整などは色々な障害の原因になります。点検をして完全に整備してからご使用下さい。
- 長期間格納するときは、燃料を抜いて、再度エンジンを始動させて停止後安全できれいな場所に保管します。
- 補用部品はすべて指定の純正部品をご使用下さい。

各部の名称



使用準備

エンジン部分と刈払装置は分かれて出荷されていますので、次の順序で組立ててご使用下さい。

○エンジンの取付け

- スタンドが下になるようにしてエンジンを取付けて下さい。
- エンジンの取付けには、付属のボルトをお使いください。
- 4本のボルトは平均に締めつけるようにします。

○ハンドルの取付け

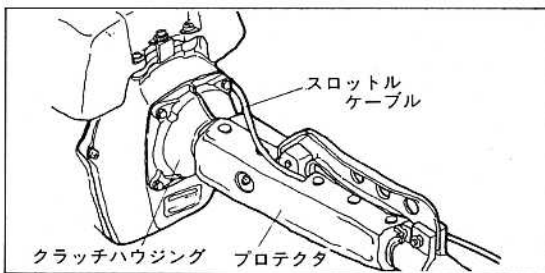
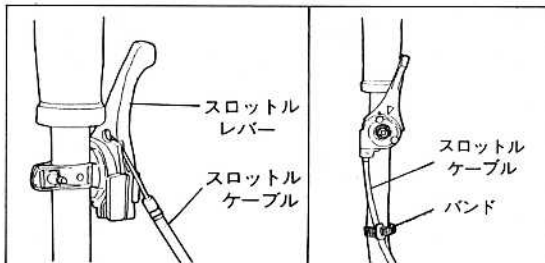
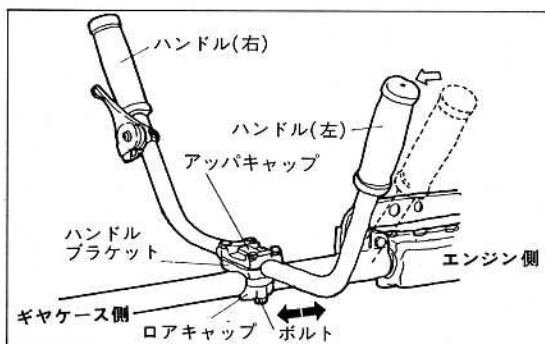
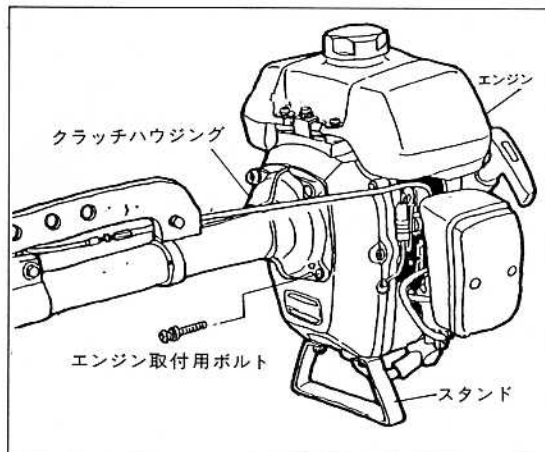
- ハンドルブラケットの4本のボルトをゆるめ、アッパキャップをはずして下さい。
- ハンドルは、スロットルレバーがついている方を右にします。
- ハンドルをブラケットにはめて、アッパキャップで押えて下さい。
- ハンドルの角度を適当に調節してから、ボルトを元通りに均等に締めつけます。
- ブラケットの下側にあるロアキャップのボルト2本をゆるめると、前後方向にも調節ができます。

○スロットルケーブルの取付け

- ハンドルについているスロットルレバーにケーブルの先端をひっかけてはめます。
- 付属品のバンドでスロットルケーブルをハンドルに固定して下さい。

○プロテクタの取付け

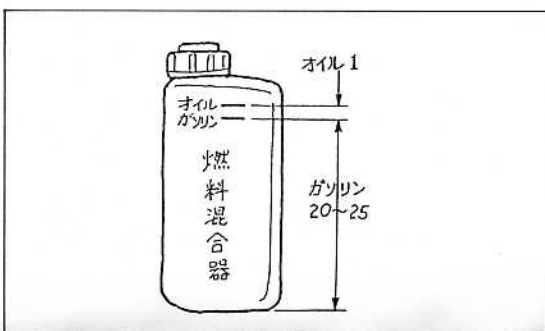
- クラッチハウジングとハンガーのまわりにプロテクタを巻きつけます。この時スロットルケーブルを図のように通して下さい。



運 転

○燃 料

- ガソリンと2サイクル専用オイルを混ぜた混合燃料です。
- ガソリン20~25に対し専用オイルを1の割合で混合して下さい。
- 指定されたオイル、混合比以外の燃料はエンジン不調の原因



因となりますので使用してはいけません。

- 容器に入れてよく混ぜ合わせて下さい。燃料タンクの中で直接混ぜてはいけません。こぼれた燃料はよくふきとります。
- 購入後2～3ヶ月経過した古い燃料は、エンジンの不調原因となりますので新しい燃料をご使用下さい。

○始 動

1. エンジンが手でさわられる位冷えている時

- 燃料を燃料タンクに入れて下さい。
- 燃料コックを開き、しばらくおいて、燃料を十分にキャブレタに送りこみます。①
- スロットルレバーを $\frac{1}{3}$ ～ $\frac{1}{2}$ 程度開いて下さい。②
- ※ ●チョークレバーを“閉”の位置にして下さい。③
- リコイルスタータを最初の爆発音がするまで数回引いて下さい。④
- チョークレバーを半開の位置にして、リコイルスタータを引いてエンジンを始動して下さい。⑤
- 始動しない場合は※印の項に戻り操作を繰返して下さい。
- 始動後30秒間くらいそのまま暖気運転して下さい。その後チョークレバーを全開の位置に戻して、スロットルレバーを戻して下さい。⑥

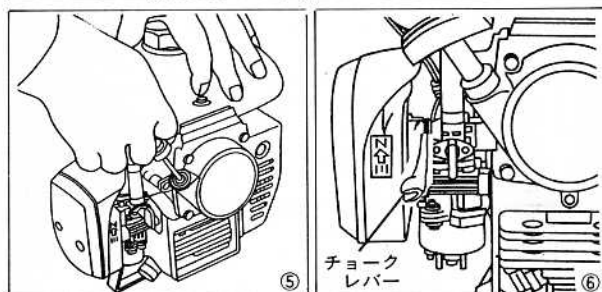
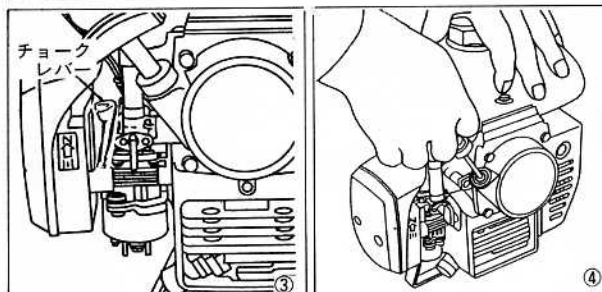
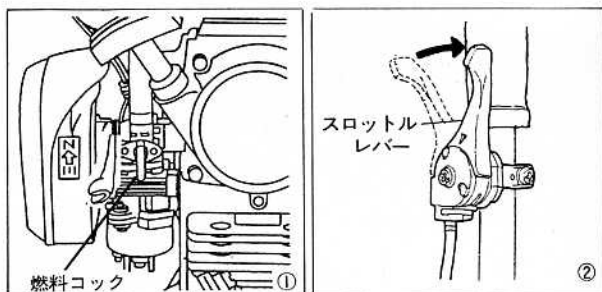
<注 意>

- エンジン始動のときは機械をしっかり押え、周囲の人などにも十分注意し、刈刃のそばの石や障害物もさけるようにします。
- エンジンが始動すると同時に刈刃が回り始めますので十分に気をつけて下さい。
- 爆発音を聞き逃がしチョークレバーを全閉のままでもリコイルスタータを引いても始動しません。
- 爆発音を聞き逃がしチョークレバーを全閉でリコイルスタータを何回も引いた時は入り過ぎた燃料を正常の空燃比(空気と燃料)とするために燃料コックを閉じスロットルレバーおよびチョークレバーを全開にしてリコイルスタータを引いて下さい。
- その場合、爆発音を聞き逃がしてから、リコイルスタータを引いた回数あるいはその回数の2倍近く引かないと正常の空燃比は得られません。
- 正常の空燃比になった時、リコイルスタータを素早く引くと始動します。
- 上記のように燃料が吸い込み過ぎの状態になった時は回復が大変ですから御注意下さい。

2. エンジンが暖まっている時

(停止後10～15分以内)

- スロットルレバーは全閉(アイドリングの位置)
- チョークレバーは全開の位置⑥にしてリコイルスタータを素早く引いて下さい。⑤
- 3. 3回程度で始動します。
- 3. 停止後30分位経ち冷えた時は1項の順に従って下さい。



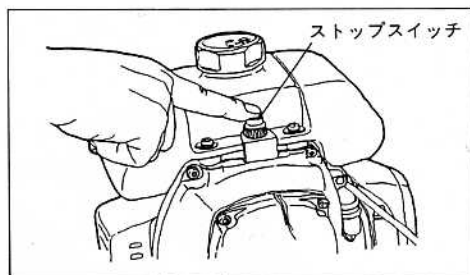
○運転と停止

●運 転

- 低速運転の後、スロットルレバーを徐々に握りエンジンの回転を上げてゆきます。
- 回転数が3000rpm前後になると刈刃が回り始めます。

●停 止

- スロットルレバーを戻し、(刈刃が回らない程度に)低速で冷却運転をしばらく続けてから、ストップスイッチをエンジンが完全に止まるまで押し続けて下さい。



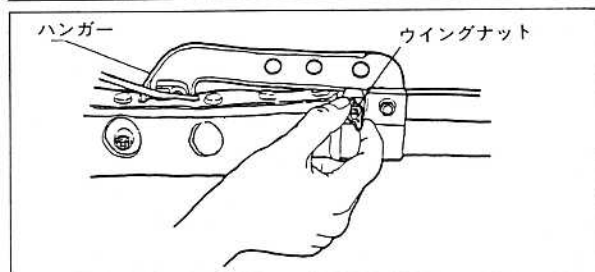
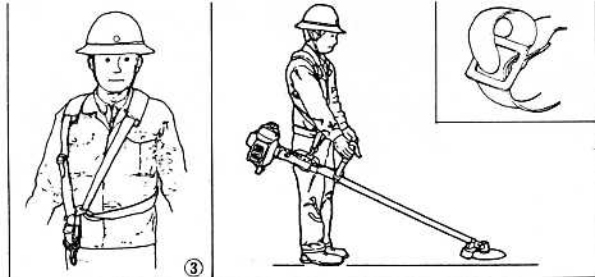
<注 意>

エンジンの最高回転数はおよそ10,000rpmとなりますが、中速回転以上で空運転(刈払作業をしない状態)を続けると故障の原因となりますので、みだりに回転を上げないで下さい。

トをバックル部で折り返して下さい。

○スイベルロックについて

- 上向き作業等、作業姿勢によりエンジンが身体から浮いた状態になりますと作業がしにくくなります。このような時は、スイベルロックを使用すると作業が楽になります。
- スイベルを固定したい時は、ウイングナットを2～3回転締付けて下さい。
- ロックを解除する時はウイングナットを2～3回転戻します。
- 通常の刈払作業はロックを解除した状態で作業して下さい。



○基本的な作業

- 肩掛けバンドを身体に合わせて長さを調整し、吊金具に本機をとりつけます。
- ハンドルを両手でしっかり握り、左足を一步踏み込んで体重の移動が安全で容易な体勢を作ります。
- スロットルレバーを握り、エンジンの回転を上げて刈払作業を開始します。
- 操作桿だけを振り回さず腰の回転によって操作桿がこれについて右から左に移動をするようにして刈払を始めます。



○作業中の注意

- 刈刃はなるべく木の株や石、又は土中にぶつけないよう地面にそわせて作業して下さい。
刈刃に石などをぶつけた時はすぐ止めて調べましょう。
- 刈刃はバランスよく研がれたもので、欠け割れのないことを確かめてから使用して下さい。
- 雑草などがからみついたら、かん木に刈刃がくい込んだような時は、無理をしないですぐスロットルレバーを戻して、刈刃にかかる無理な力を除き、正常にしてから作業を続けて下さい。
(からみついた雑草などをとる時には、必ずエンジンを停止します。)
- 防護用眼鏡、手袋その他安全装備を心がけましょう。

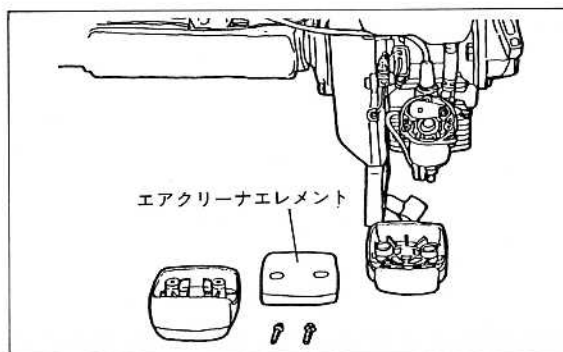
<注意>

- クラッチがつかなくなって刈刃が回転していても、あまり低速すぎると共振現象による振動を感じる場合があります。この回転で作業しますと、シャフトやクラッチの摩耗を早めます。また、草なども巻きつきやすいので、もう少し回転を上げてお使いください。
- 間違った刈刃や指定サイズ以外の刈刃で草や木を切ると本機のシャフトや、アウターパイプを破損させる恐れがありますのでご注意ください。

点検と整備

○エアクリーナ

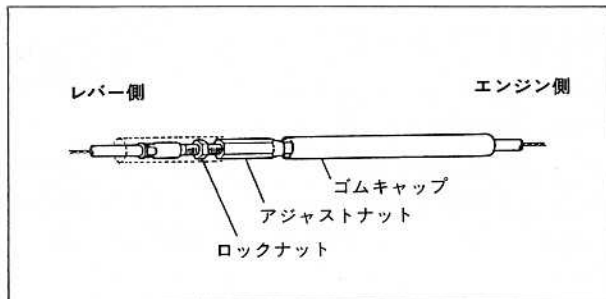
- エアクリーナのカバーを外し、内部の汚れを点検します。
軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗い、乾いてから使用します。



(裏表紙へつづく)

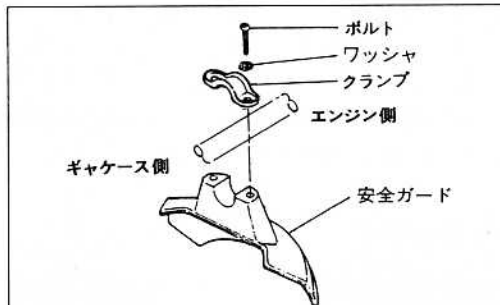
○スロットルケーブルの調整

- スロットルケーブルをスロットルレバーにセットし、スロットルレバーを全閉の位置にし、スロットルケーブルを軽く引いて1～2mmの遊びがあるようにアジャストナットをまわして調整して下さい。



○安全ガードの取付け

- 図のように、クランプを2本のボルトで締付けて下さい。この時、ガードとクランプのスキマが左右均等になるように締付けて下さい。
- 取付位置はギヤケースの端にガードが当たる位置まで刈刃に近づけて下さい。

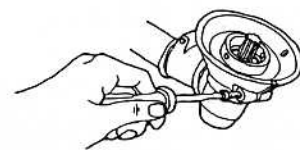
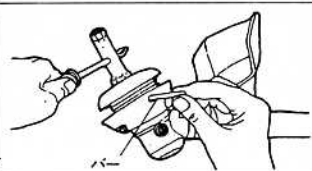
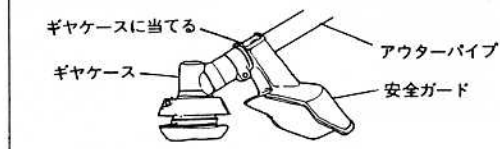


○刈刃の取付け

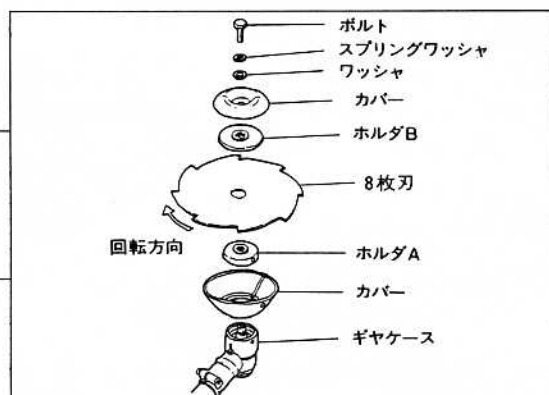
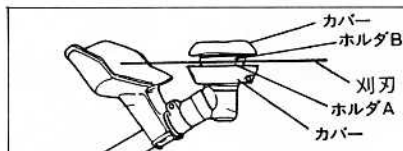
- 刈刃の取付け、取外しは、付属工具の“バー”でギヤケースとホルダ(A)を同時に固定し、軸が回らないことを確認してから行って下さい。

刈刃の押えボルトは“左ねじ”です。

- (1) ギヤケースのボス部とカバーのミゾを合わせてギヤケースのストッパに当たるまでカバーを押し込みます。
- (2) スクリュを締付けて下さい。



- ホルダ(A)とホルダ(B)の間に刈刃を入れ、刈刃取付ボルトカバー、ワッシャ、スプリングワッシャをつけてボルトを締付けてください。(締付トルク1.5～2.0kgm)



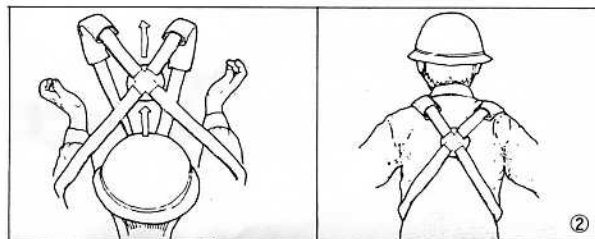
<ご注意>

当社指定の刈刃以外は絶対に使用しないで下さい。

正しい操作法

○ハーネスの掛け方

- 装着方法は図の通りです。
- フックをハンガの穴に取り付けます。
- 刈払機を身体の右側に釣り下げ、刈刃が地面と平行を保つようにバンドの長さを調整して下さい。調整した後ベル



(点検整備のつづき)

○気化器 (キャブレタ)

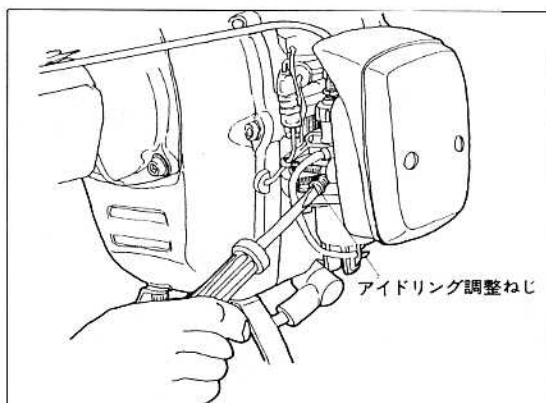
- エンジンのアイドルリングは調整されておりますから、特に調整の必要はありません。
- 調整するときは次の要領で行って下さい。スロットルレバーを低速回転の位置 (アイドルリングの位置) まで戻した時安定して回転するようにアイドル調整ねじで調整して下さい。

なお、アイドルリングの調整ねじは

右に回すと回転が上がる

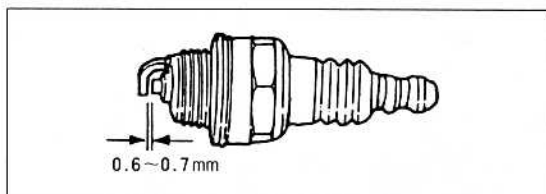
左に回すと回転が下がる

- アイドルリング時、クラッチが完全に切れて刈刃が止まるようにして下さい。



○スパークプラグ

- スパークプラグの適正な電極間隙は0.6~0.7mmです。常に適正な間隙を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用下さい。

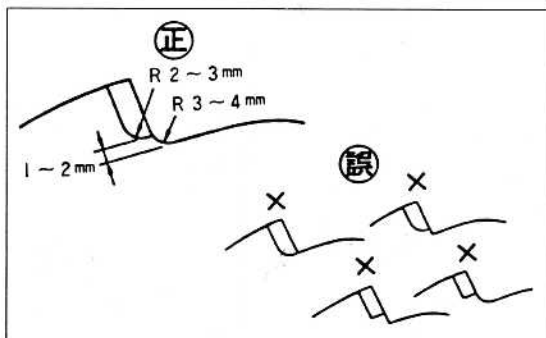


○8枚刃の研ぎ方

- 刃の付根部には必ず「マルミ」を付けて下さい。「マルミ」を付けないと使用中刃の付根部から割れを生ずることがありますからよく注意して下さい。
- 刃付部分は刃の付根から約10mmとり、付根の「マルミ」の2mmの部分には刃を付けしないで下さい。
- 各刃は均等に研いでバランスのよいものを使用します。

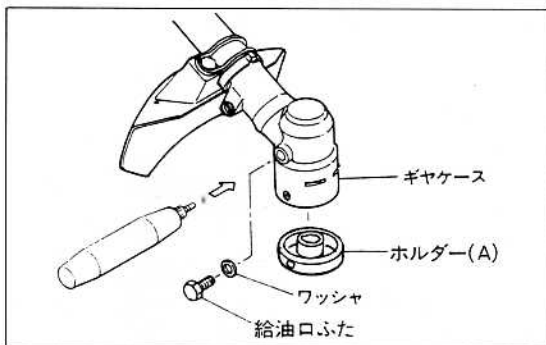
<注意>

グラインダを使用して研ぐときは急に水などに投げ入れて冷却してはいけません。欠け割れのある刈刃は新しいものに取替えて使用して下さい。



○ギヤケースの給油

使用50時間前後に給油口ふたを外し給油して下さい。
(グリースは出光興産製コロネクスNo.Oをご使用下さい。)



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売の営業所にお問い合わせ下さい

※改良のため製品仕様の変わる事があります。

検査合格証

- この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。



発売元



リョービ販売 株式会社

〒464 名古屋市千種区春岡通7丁目49番地
☎052-761-5111

6248-93110 (チ)